

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.714

2026年8月7日

東海旅客鉄道労働組合
<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!



Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

経営協議会を開催

定期大会で出された意見・要望等について議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

8月7日、申第1号「定期大会で出された意見・要望等に関する申し入れ」に基づき経営協議会を開催し、会社と議論を展開した。

経営協議会では、労使共通の最重要課題である「安全の確立」について重点的に議論し、4年連続で発生している死亡労災を踏まえ、グループ会社、関係会社と一体となった四大災害の根絶に向けた取り組みを強化していくことを確認した。また、適切で柔軟な要員配置、中央新幹線計画の推進、通勤・出張に関わる制度の改善などについて幅広く議論した。これら課題解決に向けて、労使双方が「将来につなぐ共同宣言」の精神を確実に実践し、将来にわたって継承していくことを確認した。

議論の中では、育児休職など欠勤のある社員や新入社員の人事考課について、会社としても、より良い評価のあり方を引き続き検討し、社員が納得感を得られる人事考課となるよう努めていくことを確認した。

また、この間ユニオンが主張してきた接客制帽の省略については、酷暑時に屋外で業務に従事する一部の社員について、夏服着用期間において省略を可とする取り扱いを、準備出来次第実施することを確認したが、接客制帽のあり方については、引き続き見直しを求めて議論を展開していく。

JR東海ユニオンは、これまで寄せられた組合員の声を丁寧に整理分析し、引き続き「基本協約」改訂交渉に臨み、会社と深く議論を積み重ねていく。

【主な議論内容】(黄色部分は、現時点において前進を確認した事項)

1. 安全の確立

- (1) この間の事象振り返り、安全の確立に向けた取り組み
- (2) グループ会社、関係会社と一体となった事故防止

・社内のみならず関係会社に対しても熱中症対策の徹底に関する注意喚起や好事例の展開など様々な会議体等を通じて情報共有や指導等を行い、一体となって熱中症対策に取り組んでいくことを確認!

2. 社会変容への対応

- (1) 適切で柔軟な要員配置
- (2) 持続可能な鉄道産業に向けた人財確保

・静岡工区の工期については、隣接する山梨工区、長野工区におけるこれまでの掘削実績や、これまでの静岡県の専門部会等で議論し、当社が取り組むとした環境保全措置等を踏まえ、年内には示す考えがあることを確認!

3. 制度・施策

- (1) 人事・賃金制度の見直し
- (2) 高度な技術を持つ組合員に対する処遇改善
- (3) 主事のあり方
- (4) ICTの推進
- (5) 通勤・出張に関わる制度の改善
- (6) 繁忙期手当の新設
- (7) ダイバーシティ推進に向けた取り組み
- (8) 超電導リニアによる中央新幹線計画の推進
- (9) 福利厚生施策

4. 労使関係

- (1) 企業内労働組合の重要性
- (2) 各種業務課題

・この間ユニオンが主張してきた接客制帽の省略については、酷暑時に屋外で業務に従事する一部の社員について、夏服着用期間において省略を可とする取り扱いを、準備出来次第、実施することを確認!

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。